

令和7年度

## こども園の自己評価表

社会福祉法人 敬愛会  
よこつつみこども園

**【評価対象期間】**

令和7年4月1日から令和8年2月28日

**【評価責任者】**

大阪市鶴見区横堤3丁目1-10

よこつつみこども園

園長 田邊 久子

# こども園における自己評価の結果

A 達成できている
B おおむねできている
C 一部検討を要する
D 改善を要する

## 1. 教育・保育の計画の構成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営組織	(1) 教育・保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				教育・保育目標、方針に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて設定した。前年度の反省を生かしつつ、職員間で話し合いながら、子どもの興味関心に基づいた主体的な遊びを保証する保育に取り組んだ。地域の特色をより生かした保育を目指していく。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は前年度の反省を生かし、全職員で共通理解を図っているか。		○			
教育・保育について	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				指導計画については、毎月子どもの状況・育ちを踏まえて個々に応じたねらい・配慮事項を作成する。乳児においては、丁寧な声かけや保育を心がけ、できるだけ家庭と変わらない生活リズムで過ごせるようにする。「流れる保育」を心がけ、子どもたちが有意義な保育を過ごせるように、主体性を大切にしながら意欲的に次の活動につなげる。コーナー遊びを充実させるため乳児は子どもの様子や発達に合わせて、幼児はサークルタイムやプロジェクト活動等に応じて素材・用具を活用した造形活動に取り組んでいく。会議や園内研修などで改善を常に努めている。
	(2) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した教育・保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているのか。		○			
	(5) 評価結果を基に、教育・保育の改善に努めているか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				年齢に応じた行事のあり方を考え、子ども1人ひとりの成長を保護者にも感じてもらえるような内容に出来ている。PDCAサイクルをしっかりと意識した体制をとっている。行事ありきの保育にならないよう、子どもの主体性を大切に、遊びの中で楽しみながら取り組んでいる。行事後保護者アンケートの内容を参考に行事会議の反省会を行い次年度に活用している。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 計画・実施・評価・改善(PDCAサイクル)の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				
食育について	(1) 食育の計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めているか。	○				年齢別に食育年間計画表を作成し、箸の持ち方や正しい食事のマナーを身につける。菜園やクッキングを取り入れ、食への興味関心や感謝の気持ちを育む。体に必要な栄養を知り心身の健康の基礎を知る。保育者・看護師・栄養士で子どもに合わせた食事の提供がされるように常に連携を取る。
	(2) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう食育について見直しや改善を図っているか。	○				

2. 教育・保育の計画の構成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				より質の高い保育実施に向けて組織内職務分掌を明確にしている。職員体制は個人の能力や特性を評価し適切に配置している。また、係や分担は新人と経験者が組み、1人で悩み困らないように配慮している。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。	○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				会議は、計画的に行った。プロジェクト会議や縦割り保育等各クラスから担当者が参加するため、内容や進め方など年齢毎にすることで他年齢について知り保育者自身の学びにもつながった
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、教育・保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				年齢別の教育・保育目標は、こどもの育ちや実態に即した内容になっているか評価・反省を重ねながら改善に努めている。 異年齢児保育をおおよそ、週に一度の活動を行った。縦割りクラスでは夏祭りごっこやハロウィン、クリスマス会等の行事制作やパーティーへの参加。ごった煮クッキングやお別れ餃子クッキング、外遊びでは鬼ごっこ。一年間同じ縦割りチームで活動することで、子どもたちは安心してお互いを認めながら助けながら活動する姿が見られる。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢および異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				感染症蔓延防止の為、感染症サーベイランスを活用し、早期把握に努めている。避難訓練は真剣・機敏に動き又実際に起こった場合を想定し気付きが合った時は都度改定している。子どもたちも真剣に訓練に参加する。誤嚥シミュレーションでは乳児、幼児の人形、練習用AEDを使いより想定に近い形で強い緊張感をもって取り組んでいる。 シルバー人材センターから飛び出し防止の見守り門番として配置している。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			
	情報の取り扱い	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報の取り扱いには十分に気をつけた。
		(2) 文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	研究・研修	園内	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものである。	○			
(2) 園内研修の計画・運営は適切か。			○				
(3) 研究成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			○				
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりをみせているか。			○				
園外		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			園外研修の理解共有は職員会議を通して全職員に共有できるよう努めているが、時間的制約があり、記録の回覧になっているケースもあるため、改善に努めていく。 職員の意向を反映した研修参加も行っていきたい。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				安全点検は、毎月職員が園内外を点検項目に沿って行っている。遊具の点検、用具の整理整頓を心がけ大切に使う。子どもの成長に合わせて用意する。 シルバー人材センターから飛び出し防止の見守り門番として配置している。園外掲示板には、AED設置施設であることを明確にするとともに、職員による誤嚥シミュレーションを月1回実施している。日頃からAEDを使用した研修を行い、緊急時に迅速かつ適切な対応ができる体制を整えている。
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等の対する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 小口現金を適正かつ適切に処理しているか。	○				原則事前申告後に小口購入を認める。支払いの都度、こまめな確認により、不要物購入の発見に努める。
施設間交流・連携	(1) 他施設等の児童・生徒と触れ合う中で子どもが楽しく過ごし充実感を味わう事が出来るような配慮や援助・支援を行っている		○			姉妹園との合同運動会によるマーチング等の練習でお互いに訪問し楽しみながら触れ合うことで力を合わせてやり抜く。互いの保育者が交流や意見交換を行い就学につなげている。小学校教育の理解を深められるような取り組みを地域小学校との交流会に積極的に参加している。
	(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○			
	(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
家庭・地域社会との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設置しているか。	○				保護者向けに親子登園や保育参観を通し、教育・保育の理解と園の取り組みへの理解が図ることができるようにしている。 地域子育て支援では月に一度の交流ケイアイクラブを開催し、又老人施設や高齢者サービスではクリスマス会などに参加して歌やダンス、触れ合い遊びなどを行っている。 警察署、消防署、地域スーパー、商店街の花屋など地域の社会資源と連携し、消防車体験や働く大人との交流、買い物体験、地域のセミナーへの参加を行った。これらを通し、地域社会とのつながりを感じる良い経験の機会となった。地域高等学校の「絵本の読み聞かせ」クラブの学生が年に2回程度、子どもに絵本を読み聞かせてをしてくれている。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	○				
	(3) こどもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	○				地域子育て支援として月1回施設開放を予約制で行い子どもの身体測定、季節的テーマで活動し、保護者からの子育て・栄養・健康相談には必要に応じ随時対応した。 社会福祉協議会からの子育て情報交換会や、おねしょに付いての冊子、病児保育に付いてのお話など、保護者に提供している。職員による子育て相談は、希望される保護者には相談室にて時間を取り面談を行っている。
	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした情報提供の機会を設定しているか。		○			
	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
情報の発信	(1) 保育支援システムやホームページSNSなどを活用して、施設の情報を積極的に発信しているか。	○				インスタグラム等SNSも活用し、保護者、養成校の学生、求職活動中の保育者、保活中の保護者など様々な方に、園を知ってもらう取り組みをしている。 保健センターなどに地域子育て支援の情報を共有し子育て世帯に配布している。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
外部	(1) 第三者評価を導入し施設運営に反映しているか。	○				令和6年度第三者評価を受審し、当園が目指す保育のあり方を職員一人一人が見直し、改善すべき点や強化すべき取り組みを再確認する事ができた。保護者からの意見や要望は次年度の保

	評価	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			育の見直しに生かして、保育の質の向上に繋がっている。
--	----	-----------------------------	--	---	--	--	----------------------------